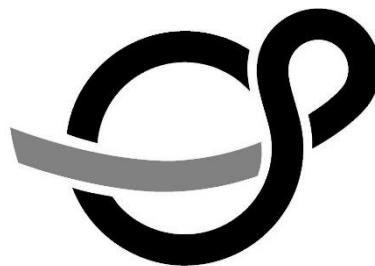


埼玉大学大学院理工学研究科
博士前期課程

学生募集要項
(第3次募集)

【令和7年4月入学】



Saitama University
埼玉大学

【出願期間】

令和7年1月7日(火)～1月10日(金)

【Application period】

January 7 (Tue.) – January 10 (Fri.), 2025

目 次

I. 【令和 7 年 4 月入学】埼玉大学大学院理工学研究科 博士前期課程 学生募集要項 (第 3 次募集)	1
II. 【令和 7 年 4 月入学】埼玉大学大学院理工学研究科 博士前期課程 地球環境における科学技術の応用と融合 PG 学生募集要項 (第 3 次募集)	10
III. 【令和 7 年 4 月入学】埼玉大学大学院理工学研究科 博士前期課程 地球環境における科学技術の応用と融合 PG 社会人入試学生募集要項 (第 3 次募集)	16
IV. 障がい等のある入学志願者の事前相談について	20
V. 入試情報の開示について	20

本研究科所定の用紙

- ・入学志願票・受験票・写真票
- ・収納証明書貼付用紙
- ・履歴書 (外国人留学生用) — 外国人留学生は必ず提出
- ・志望調査書 (物理学 PG、数学 PG、情報工学 PG、地球環境における科学技術の応用と融合 PG 志願者)
- ・受験許可書
- ・入試情報開示請求書

〈以下、個別審査申請用〉

- ・入学試験出願資格個別審査申請書 (様式 1) — 個別審査申請者のみ提出
- ・経歴書 (様式 2) — 個別審査申請者のみ提出
- ・入学希望理由書・別紙 (様式 3) — 個別審査申請者のみ提出

※問い合わせ先

埼玉大学大学院理工学研究科支援室理工研係
〒338-8570 さいたま市桜区下大久保 255
TEL 048-858-3430

理工学研究科 博士前期課程のアドミッションポリシー

博士前期課程では、学部における専門基礎教育をもとに、専門分野のみならず基礎から応用にわたる広い関連知識の修得を目指す高度専門教育を通して、独創性のある国際的なレベルの研究者へ成長するための基礎を備えた人材又は国際的な知識基盤社会において指導的役割を果たすことができる高度専門職業人を育成することを教育研究上の目的としている。

The educational and research objective of the master's course is to build on the basic specialized education students received in their undergraduate course and provide advanced specialized education to equip students with knowledge ranging from basic knowledge to applied knowledge, in both their field of specialization and a wide range of other topics. In doing so, the course aims to develop personnel with the basic capabilities required to become researchers with a high degree of originality who can work internationally, and advanced professionals who can play an instructional role in an international knowledge-based society.

[入学者選抜の基本方針]

博士前期課程において専門的な教育や研究指導を受けて、高度な実験・実習を実施していくためには、自然科学や工学の各分野における基礎学力が必要とされる。そのため、学生の受け入れに際しては、学部教育で身につけた基礎学力の判定を目的とした、筆記試験（又は口述試験）を各専門教育プログラムで実施する。さらに、知識の応用力や勉学に対する姿勢が十分であるかを見るために個別面接試験を実施する。

[Basic Selection Policy]

Students must possess basic academic capabilities in a natural science or engineering field in order to handle the specialized education of the master's course and the advanced research and practical work conducted under research advisors. For this reason, a written exam (or an oral exam) is administered for each specialized educational program to determine the level of basic academic capabilities that students gained through their undergraduate study. Individual interviews are also conducted to verify that candidates are sufficiently able to apply their knowledge and possess the academic rigor that the course requires.

[求める学生像]

博士前期課程の各専門教育プログラムでは、次のような学生を受け入れ、教育・研究指導を行う。博士前期課程教育を受ける適性のある人を積極的に受け入れるため、複数の入学試験を実施する。

[Attributes of suitable candidates]

Below are the attributes of candidates who will be accepted for study and research in each specialized education program of the master's course. The Graduate School is committed to accepting students who are suited to the master's course. For this reason, multiple entrance exams are administered.

物理学プログラム

1. 自然科学の基礎となる物理学の基本とその思考方法及びコミュニケーション能力を身につけている人
2. 自然の諸階層における物質構造や量子科学についての基本的理解と柔軟な思考力・能動的な学術的研究能力を持つ国際的にも通用する研究者となることを目指す人
3. 自然の体系的な理解に基づく研究開発能力を備えた高度な技術者となって実社会に貢献することに意欲を持つ人

Physics Program

1. Those who have acquired the basics of physics underlying natural science, and physical ways of thinking and communication ability.
2. Those who aim at becoming a globally active, capable researcher with basic understanding, flexible ability of thinking, and positive scientific research ability of the structures of materials in natural layers and quantum science.
3. Those who are willing to make contribution to the real world by becoming an advanced engineer with research and development ability based on systematic understanding of nature.

数学プログラム

1. 解析学、代数学、幾何学などに関する基礎学力を身につけており、それらの最先端の研究や自然・社会現象を理解するための数理に知的好奇心を持ち、論理的思考を重視し、学習、研究、研究発表などに積極的に取り組もうとする人
2. 数理的知識や論理的思考力を生かして教育界や情報関連分野をはじめとする社会の諸分野で活躍しようとする人
3. 最先端の研究に寄与して国際的なレベルでの活躍を目指す意欲的な人

Mathematics Program

1. Those who have acquired basic scholastic ability of analysis, algebra and geometry, have intellectual curiosity about mathematical principles to understand cutting-edge research and natural and social phenomena, place an emphasis on logical thinking, and try to aggressively engage in learning, research and research presentation.
2. Those who try to actively work in various areas of society, including the educational world and information-related areas, by utilizing mathematical knowledge and logical thinking ability.
3. Those who are willing to actively work at an international level by contributing to cutting-edge research.

情報工学プログラム

1. 数学及び情報分野の基礎知識とコミュニケーション能力を有する人
2. 興味を持つテーマに関する専門的な知識を有する人
3. 技術者・研究者として社会に貢献することに意欲的な人
4. 最先端の知識を吸収し、また発信することに意欲的な人

Information and Computer Sciences Program

1. Those who have basic knowledge of mathematics and the area of information, as well as communication ability.
2. Those who have expertise of themes they are interested in.
3. Those who are willing to make social contribution as an engineer or researcher.
4. Those who have aspirations for absorbing and sending out state-of-art knowledge.

環境社会基盤国際プログラム

1. 環境・社会基盤工学に関する専門基礎知識を有し、最新かつ高度な専門知識に興味を持つ人
2. 社会の要求する問題に対し、自ら課題を探究し解決することに強い意欲を有する人
3. データ収集・分析を行い事象の本質を探究する姿勢を持つ人
4. 論理的な思考能力とプレゼンテーション能力を身につけたい人
5. 多様な人や組織と連携を取りながら国際的に活躍という熱意のある人

Civil and Environmental Engineering Program

1. Those who have specialized basic knowledge of civil and environmental engineering, and interested in the latest and advanced expertise.

2. Those who have a strong desire to explore and solve problems on their own for the problem demanded by society.
3. Those who has the attitude of exploring the essence of phenomena by gathering and analyzing data.
4. Those who want to acquire logical thinking and presentation abilities.
5. Those who are keen to work globally through networks of various people and organizations.

地球環境における科学技術の応用と融合プログラム（融合教育プログラム）

融合教育プログラムでは、SDGs に代表される持続可能な社会の構築に貢献できる人材として、高い専門性と人文・社会科学を含めた幅広い知識を有する人材を育成するため、以下の 1～3 に関し積極的に学ぶことを望む学生を受け入れる。

1. 持続可能な開発目標（SDGs）の達成に強く興味を持ち、論理的思考を元に実践したい人
2. 特にエネルギー・資源循環・環境・生物多様性保全分野において SDGs の目標達成に貢献することを目指す人
3. 社会課題の解決法を探るために様々な立場とのパートナーシップを大切にして、幅広い知識を身に付けた技術者を目指す人
4. 国内のみならず諸外国の自然・文化の特性を理解しつつ、国際社会で活躍することを目指す人

Interdisciplinary Education Program for Applied Science and Technology in Global Environment

This program will develop highly skilled human resources with a wide range of knowledge, including humanities and social sciences, contributing to building a sustainable society of SDGs. Students who are keen to learn the following 1-3 will be accepted.

1. Those who has a strong interest in achieving the SDGs and want to practice based on logical thinking.
2. Those who would contribute to achieving targets especially in the field of energy, resource recycling, environment, and biodiversity conservation.
3. Those who make a good partnership with various positions to find solutions to social issues and would become an engineer with a wide range of knowledge.
4. Those who can understand the nature and cultural characteristics not only of Japan but of foreign countries and aim to play an active role in the international community.

I. 【令和7年4月入学】埼玉大学大学院理工学研究科 博士前期課程 学生募集要項（第3次募集）

1. 募集人員

専攻名	PG 名	募集人員	備考
物質科学専攻	物理学 PG	若干名	
数理電子情報専攻	数学 PG	若干名	
	情報工学 PG	若干名	
環境社会基盤専攻	環境社会基盤国際 PG	若干名	

備考：募集人員に留学生を含む。

注) 希望する指導教員と出願前に十分に相談し出願してください。相談がない場合には、指導教員の定年退職等により受け入れない場合があります。

2. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者とします。

- (1) 日本の大学を卒業した者及び令和7年3月までに卒業見込みの者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者及び令和7年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び令和7年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和7年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされる者に限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者
- (9) 大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了し、若しくは我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者であって、本学大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したと認めたもの
- (10) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、当該者をその後に入学者とする本学大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- (11) 本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達したものと及び令和7年3月31日までに22歳に達するもの

※出願資格(11)については、8ページ「出願資格(11)の出願資格審査について」を参照してください。

なお、個別の出願資格審査を行うのであらかじめ申し出て、指定する書類を令和6年12月20日(金)までに提出してください。

出願資格について疑問がある場合は、理工学研究科支援室理工研係（TEL 048-858-3430）に照会してください。

3. 出願手続

(1) 出願期間

令和7年1月7日（火）～1月10日（金）まで。

受付時間は、9時から16時まで。

(2) 提出書類等

＜**本学に在籍している者（現在本学の研究生である者を含む。）**

Formsでの登録期間は、令和7年1月7日（火）9時から1月10日（金）15時まで。

提出書類等	注意事項
受験票・写真票	本研究科所定の様式に必要な事項を漏れなく記入してください。写真は、出願前3ヶ月以内に撮影した正面脱帽上半身のものを指定欄に貼付してください。 <u>入学志願票の提出は必要ありません。</u>
卒業（見込）証明書	出願時に本学の理学部・工学部に在籍している者は提出の <u>必要はありません。（成績証明書の提出は必要です。）</u> 本学他学部部に在籍している者は提出してください。（厳封は不要です。）
成績証明書	本学の在籍者は <u>提出してください。</u> （厳封は不要です。） 本学に編入学している場合は、編入前の大学等の成績証明書も提出してください。
検定料	検定料：30,000 円 払込方法 コンビニエンスストアで払い込んでください。別紙案内書「コンビニエンスストアでの入学検定料払込方法」を参照ください。 ※出願期間を過ぎると受付できないので、早い時期（出願期間前でも可能）に検定料を振込んでください。ただし、国費外国人留学生は、本学で発行される「国費外国人留学生証明書」を提出してください。これにより検定料が免除されます。 検定料の免除について 学資負担者が令和6年4月1日から出願時までに、災害救助法が適用された地域（災害救助法適用地域）で被災した場合で、地方公共団体が発行する全壊・流失・半壊の罹災証明を得られた志願者の検定料を免除します。 検定料の免除を希望する志願者は、本学ホームページ上から検定料免除願をプリントアウトし、必要事項を記入のうえ、罹災証明書等を添付して出願書類と同時に提出してください。（この場合は、検定料を払わないでください。） また、出願時に罹災証明書等を提出できない場合は、検定料を払い込んだうえ、検定料免除願のみを提出してください。後日、罹災証明書等を提出した場合に検定料を還付します。
収納証明書貼付用紙	「収納証明書」を貼付したもの。
志望調査書	物理学 PG、数学 PG、情報工学 PG 志願者は提出してください。それぞれの所定用紙に記入してください。
TOEIC または TOEFL、IELTS スコア票等とその写し	【TOEIC スコアを提出する方】 TOEIC IP オンラインスコアは無効とします（会場で受験したスコアを有効とします）。デジタル公式認定証を紙にプリントアウトしたものを2枚提出してください。 【TOEFL スコアを提出する方】 TOEFL iBT Home Edition のスコアは有効とします。 会場受験の TOEFL ITP、TOEFL iBT は有効とします。

	【学内の英語教育開発センターが実施する TOEIC IP・TOEFL ITP のスコアを提出する方】 各自の Webclass 該当ページをプリントアウトしたものを 2 枚提出してください。ただし、その場合も TOEIC IP オンラインスコアは無効とします。 出願時または学力検査時に提出してください。 なお、一度提出したスコア票を差し替えることはできないので注意してください。 (注) TOEIC または TOEFL、IELTS スコア票等の提出の免除について <u>英語能力が十分高いことを公式の書類で証明できる(例、英語圏の大学を卒業している)場合には、TOEIC または TOEFL、IELTS スコア票等の提出を免除される場合があります。必ず事前に理工学研究科支援室理工研係 (TEL 048-858-3430) に照会してください。</u>
受験票等送付用封筒	定形 (12cm×23.5cm) の封筒に、郵便番号、住所及び宛名を明記し、110 円切手を貼付したもの。
外国人留学生は、履歴書（本研究科所定の様式）及び在留カードの写しを提出してください。 なお、やむを得ず在留カードの写しを提出できない者は、その理由書及びパスポートの写しを提出してください。その場合、受験当日にパスポートを持参し係員に提示してください。	
国費外国人留学生は、「国費外国人留学生証明書」（本学で発行）を添付してください。	

(注意) ① 提出書類のうち外国語によるものは、日本語または英語の訳をつけてください。

② 学位取得見込者については、学位取得後、学位授与証明書を提出してください。

出願は、一部 Forms を利用した手続きとなります。埼玉大学大学院理工学研究科の HP に掲載する URL より出願情報を登録後、書類を提出してください。

埼玉大学＞埼玉大学理工学研究科＞受験生のみなさんへ＞入試情報＞博士前期課程（修士課程）

<https://www.saitama-u.ac.jp/rikogaku/admission/exam/masters.html>



＜本学在籍中の者以外（他大学等に在籍している者、本学を卒業した者等）＞

提出書類等	注意事項
入学志願票・ 受験票・写真票	本研究科所定の様式に必要事項を漏れなく記入してください。写真は、出願前 3 ヶ月以内に撮影した正面脱帽上半身のものを指定欄に貼付してください。
卒業（見込）証明書	出身大学等の学長又は学部長が作成した卒業（見込）証明書
成績証明書	出身大学等の学長又は学部長が作成した成績証明書 ・大学に編入学している場合は、編入前の大学等の成績証明書も提出してください。 ・高等専門学校の本科から専攻科に進学した場合は、本科の成績証明書も提出してください。
検定料	検定料：30,000 円 払込方法 コンビニエンスストアで払い込んでください。別紙案内書「コンビニエンスストアでの入学検定料払込方法」を参照ください。 ※出願期間を過ぎると受付できないので、早い時期（出願期間前でも可能）に検定料を振込んでください。ただし、国費外国人留学生は、在籍大学で発行される「国費外国人留学生証明書」を提出してください。これにより検定料が免除されます。 検定料の免除について 学資負担者が令和 6 年 4 月 1 日から出願時まで、災害救助法が適用された地域（災害救助法適用地域）で被災した場合で、地方公共団体が発行する全壊・流失・半壊の罹災証明を得られた志願者の検定料を免除します。 検定料の免除を希望する志願者は、本学ホームページ上から検定料免除願をプリントアウトし、必要事項を記入のうえ、罹災証明書等を添付して出願書類と同時に提出してください。（この場合は、検定料を払わないでください。）

	また、出願時に罹災証明書等を提出できない場合は、検定料を払い込んだうえ、検定料免除願のみを提出してください。後日、罹災証明書等を提出した場合に検定料を還付します。
収納証明書貼付用紙	「収納証明書」を貼付したもの。
志望調査書	物理学 PG、数学 PG、情報工学 PG 志願者は提出してください。それぞれの所定用紙に記入してください。
受験許可書	現在大学院在学中の者又は官公署及び会社等に在職中の者は、その所属長の受験許可書（本研究科所定の様式による）を提出してください。ただし、本人が退職して入学する場合は、その旨を明記した文書を以て受験許可書に代えることができます。この場合は、入学時に退職証明書を提出してください。
TOEIC または TOEFL、IELTS スコア票等とその写し	【TOEIC スコアを提出する方】 TOEIC IP オンラインスコアは無効とします（会場で受験したスコアを有効とします）。デジタル公式認定証を紙にプリントアウトしたものを 2 枚提出してください。 【TOEFL スコアを提出する方】 TOEFL iBT Home Edition のスコアは有効とします。 会場受験の TOEFL ITP、TOEFL iBT は有効とします。 出願時または学力検査時に提出してください。 なお、一度提出したスコア票を差し替えることはできないので注意してください。 <u>（注）TOEIC または TOEFL、IELTS スコア票等の提出の免除について</u> 英語能力が十分高いことを公式の書類で証明できる（例、英語圏の大学を卒業している）場合には、TOEIC または TOEFL、IELTS スコア票等の提出を免除される場合があります。必ず事前に理工学研究科支援室理工研係（TEL 048-858-3430）に照会してください。
受験票等送付用封筒	定形(12cm×23.5cm)の封筒に、郵便番号、住所及び宛名を明記し、110 円切手を貼付したもの。
外国人留学生は、履歴書（本研究科所定の様式）及び在留カードの写しを提出してください。 なお、やむを得ず在留カードの写しを提出できない者は、その理由書及びパスポートの写しを提出してください。その場合、受験当日にパスポートを持参し係員に提示してください。 国費外国人留学生は、「国費外国人留学生証明書」（在籍大学で発行）を添付してください。	

- （注意） ① 提出書類のうち外国語によるものは、日本語または英語の訳をつけてください。
② 学位取得見込者については、学位取得後、学位授与証明書を提出してください。

※TOEIC、TOEFL、IELTS スコアについて

PG 名	有効とする成績	提出時期 (いずれかの時期で提出してください。)	
		出願時	学力検査時
物理学 PG	4 年以内	○	○
情報工学 PG	3 年以内	○	○
環境社会基盤国際 PG	3 年以内	○	○

(3) 出願方法

入学志願者は、上記の提出書類等を所定の期間内に持参又は郵送により提出してください。

なお、提出書類を郵送する場合は、簡易書留郵便として封筒の表に「大学院理工学研究科博士前期課程入学志願書類在中」と朱書きの上、締切日までに必着するよう送付してください。

(4) 書類提出先

〒338-8570 さいたま市桜区下大久保 255 埼玉大学大学院理工学研究科支援室理工研係

4. 障がい等のある入学志願者の事前相談について（20 ページ参照）

5. 選抜方法等

- (1) 入学者の選抜は、各 PG で定める学力検査、TOEIC または TOEFL、IELTS、面接及び成績証明書を総合して行います。

成績証明書は基礎資料として利用する場合があります。

- (2) 面接について

① 面接の形式

複数の試験委員による個人面接とします。

② 評価基準

研究に対する意欲や関心、専門分野の知識等について、総合的に評価します。

- (3) 配点について

専攻名	PG 名	口述試験	筆記試験	英語 ^(注)	面接試験	成績証明書	合計
物質科学専攻	物理学 PG	500		100			600
数理電子情報専攻	数学 PG		100		100		200
数理電子情報専攻	情報工学 PG		300	100	100		500
環境社会基盤専攻	環境社会基盤国際 PG		100	100	200	100	500

(注) 英語の評価は TOEIC または TOEFL、IELTS の成績を用いて行います。PG で指定された試験の成績を未提出の場合は 0 点として取り扱います。

- (4) 検査科目及び日時

I. 口述試験

- a. 実施日程 令和 7 年 2 月 13 日（木）
b. 試験内容

PG 名	試験内容
物理学 PG	1) 専門科目(物理学全般)について口頭試問により学力を検査する。 2) 卒業研究・志望動機等に関する質疑応答

※「英語」の評価は TOEIC L&R（IP を含む）または TOEFL(PBT、iBT、ITP)の成績を用いて行う。

有効とするスコアについての詳細は、P. 2-4 を参照すること。本学に在籍中の者とそれ以外の者で有効とするスコアが異なるので注意すること。

本学への成績提出日の 4 年前より成績提出日までに実施された試験の成績を有効とする。受験者は TOEIC の成績(公式認定書またはスコアレポートの原本 1 部およびそのコピー 1 部)または TOEFL の成績(受験者用控えスコア票 (Examinee Score Report)の原本およびそのコピー 1 部)を出願時または学力検査時に提出すること。原本は口述試験後、返却する。TOEIC または TOEFL の成績は、英語 100 点満点に換算して評価する。

II. 筆記試験及び面接試験

(◎印は、外国人留学生に対する措置を示す。)

数理電子情報専攻 (数学 PG)

期日	令和7年2月13日(木)	
時間	10:00~12:00	13:00~
試験科目	専門科目 (100点)	面接 (100点)
	「線形代数学」と「微分積分学」に関する4問に解答する。 「代数」「幾何」「解析」に関する基礎的な問題3問の内1問を選択し解答する。	

数理電子情報専攻 (情報工学 PG)

期日	令和7年2月13日(木)	
時間	10:00~12:00	14:00~
試験※科目	専門基礎科目 (300点)	面接 (100点)
	線形代数、微積分、確率・統計、数理論理学に関する問題を解答する。	

◎解答は日本語又は英語で行う。

○面接の満点(100点)の30%(30点)に達しない者は、合計点の如何にかかわらず不合格とする。

※「英語」の評価はTOEIC L&R (IPを含む)、TOEFL (PBT、iBT、ITP)、IELTSの成績を用いて行う。

有効とするスコアについての詳細は、P. 2-4を参照すること。本学に在籍中の者とそれ以外の者で有効とするスコアが異なるので注意すること。

本学への成績提出日の3年前より成績提出日までに実施された試験の成績を有効とする。受験者はTOEICの成績(公式認定書またはスコアレポート)、TOEFLの成績(受験者用控えスコア票(Examinee Score Report))、IELTSの成績(成績証明書の原本とそのコピー1部)のいずれかを出願時または学力検査時に提出すること。原本は面接後、返却する。TOEIC、TOEFL、IELTSの成績は、英語100点満点に換算して評価する。

環境社会基盤専攻 (環境社会基盤国際 PG)

期日	令和7年2月13日(木)	
時間	10:00~12:00	13:00~
試験※科目	専門基礎科目 (100点)	面接 (200点)
	小論文(建設事業、維持・管理、防災・減災、地球科学、環境問題、SDGsなどの環境社会基盤に関する基礎的な内容を問う論述、一般的な科学英語による出題を含む)	

◎英語又は日本語のいずれでの出題を希望するか志願票に申告すること。

◎解答は、日本語又は英語で行う。

※「英語」の評価はTOEIC L&R (IPを含む)、TOEFL (PBT、iBT、ITP)、IELTSの成績を用いて行う。

有効とするスコアについての詳細は、P. 2-4を参照すること。本学に在籍中の者とそれ以外の者で有効とするスコアが異なるので注意すること。

本学への成績提出日の3年前より成績提出日までに実施された試験の成績を有効とする。受験者はTOEICの成績(公式認定書またはスコアレポート)、TOEFLの成績(受験者用控えスコア票(Examinee Score Report))、IELTSの成績(成績証明書の原本とそのコピー1部)のいずれかを出願時または学力検査時に提出すること。原本は面接後、返却する。TOEIC、TOEFL、IELTSの成績は、英語100点満点に換算して評価する。

(5) 試験場

本学構内（さいたま市桜区下大久保 255）

京浜東北線	北浦和駅西口下車	埼玉大学行バス約 15 分
埼京線	南与野駅下車	埼玉大学行バス約 10 分

※南与野駅埼玉大学行（経由）バス停は南与野駅北入口及び南与野駅西口があります。南与野駅西口からの便は少ないので注意してください。

- (6) 試験室の案内及び諸注意事項は、受験票と同時に送付します。なお、令和 7 年 2 月 5 日（水）までに受験票が未着の場合は、理工学研究科支援室理工研係に照会してください。

6. 合格者の発表

令和 7 年 3 月 6 日（木）10 時に本学理工学研究科の掲示板に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には理工学研究科支援室理工研係で受験票と照合の上、合格通知書と入学手続関係書類を交付します。

なお、他大学出身者で当日受領しなかった者には郵送します。内部進学者は理工学研究科支援室理工研係で受領してください。

7. 入学手続

(1) 入学手続日

令和 7 年 4 月入学の場合：令和 7 年 3 月 26 日（水）及び 3 月 27 日（木）9 時から 17 時まで。

- (2) 提出書類 埼玉大学大学院理工学研究科（博士前期課程）受験票
その他本学の指定する書類等（合格者に通知します。）

- (3) 納付金 入学料・授業料
入学料 282,000 円〔予定額〕
授業料（半期分）267,900 円（年額）535,800 円〔予定額〕

入学手続は本学が指定した提出書類等を本人又は代理人が直接大学に持参してください。
なお、郵送による入学手続も可能です。詳細については合格者にお知らせします。

- ※1 授業料については、希望により前期分の納付の際に後期分も併せて納付することができます。
※2 入学手続を行い入学辞退を認められた者が令和 7 年 3 月 31 日（月）17 時までに返還の申し出を行った場合、当該授業料相当額は返還します。
※3 入学時には上記入学料のほか、学生教育研究災害傷害保険など若干の諸経費が必要です。
※4 在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。
※5 経済的理由等で入学料・授業料の納入が著しく困難であると認められる者については、選考の上、免除又は徴収猶予する制度があります。詳細については合格者にお知らせします。
（免除又は徴収猶予を申請した後に入学辞退を希望する場合は、入学料を納付する必要があります。）
※6 入学手続期間内に入学手続を行わない者は、入学辞退者として取り扱います。

8. 注意事項

- (1) 必要な書類等が全て揃っていない場合には受付できないので、出願の際には十分確認してください。
(2) 出願書類受付後は、提出書類の返却及び検定料の返還はしません。ただし、TOEIC、TOEFL、IELTS の原本を提出した受験者には、面接終了後に原本を返却します。
また、次の場合は検定料の返還請求ができます。
① 検定料を払い込んだが、出願しなかった（出願書類を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合。
② 検定料を誤って二重に払い込んだ場合。
③ 出願時に検定料免除を申請し、後日、本学に罹災証明書等が提出された場合。
返還請求の方法は、所定の返還請求書（※）に必要事項を記入し、振込金受付証明書又は収納証明書の原本を添付し、下記送付先へ必要に応じて簡易書留等到着が確認できる方法で速やかに送付してください。

(封筒には「検定料返還請求書在中」と朱書してください。)

なお、上記③の場合は、地方公共団体の発行する罹災証明書も添付してください。

送付先 〒338-8570 さいたま市桜区下大久保 255 埼玉大学財務部経理課出納担当

(返還は、請求書受理後 2 ヶ月程度かかります。)

(※) 返還請求書は、本学ホームページからダウンロードして入手してください。

https://www.saitama-u.ac.jp/entrance/exam_info/henkanseikyu.pdf

- (3) 出願書類受付後は、いかなる理由があっても記載事項の変更は認めません。ただし、住所、電話番号に変更があった場合には、理工学研究科支援室理工研係まで連絡してください。
- (4) 提出書類の記載事項と事実が相違していることが判明した場合には、入学後でも入学を取り消すことがあります。
- (5) 出願手続等に不明の点がある場合は、理工学研究科支援室理工研係(TEL 048-858-3430)に照会してください。

9. 奨学金について

日本学生支援機構奨学金の予約採用については合格者に通知する予定です。

10. 長期履修学生制度について

職業を有しているなどの理由により、標準の修業年限(2年)で修了が難しい場合、その修業年限を延長し、一定の期間(最長4年)内で計画的にカリキュラムを履修することにより、修了することができる「長期履修学生制度」を適用することができます。

11. 出願資格(11)の出願資格審査について

出願資格(11)で出願しようとする者については、個別の出願資格審査を行うので、あらかじめ本研究科へ申し出て、次の書類を令和6年12月20日(金)までに(2. 出願資格欄参照)本研究科に提出してください。

- ① 入学試験出願資格個別審査申請書 …………… (指定様式 1)
- ② 経歴書 …………… (指定様式 2)
- ③ 入学希望理由書 …………… (指定様式 3)
- ④ 成績証明書
- ⑤ 卒業証明書又は在籍証明書(入学年月日及び在籍期間が記載されたもの)
- ⑥ その他本研究科で必要と認めたもの

出願資格(11)に該当する者

- ① 短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者やその他教育施設の修了者等であること。
- ② 大学教育修了までの学校教育の課程が16年に満たない国において大学教育を修了した者で、大学教育修了後、日本国内又は国外の大学若しくは大学共同利用機関等これに準ずる研究機関において研究生、研究員等として相当期間(おおむね1年以上とする)研究に従事しており、令和7年3月31日までに22歳に達するものであること。

入学試験出願資格認定審査は、本研究科において行い、これが終了するまで出願書類の受理を保留します。

12. 緊急時の連絡の方法について

自然災害などにより試験の予定通りの実施が危ぶまれるときは、試験実施日前日の16時までに試験実施の可否などについて、大学院理工学研究科ホームページに公表しますので確認してください。

<https://www.saitama-u.ac.jp/rikogaku/admission/exam/masters.html>



13. 安全保障輸出管理について

埼玉大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づいて「国立大学法人埼玉大学安全保障輸出管理規則」を定めて、技術の提供及び貨物の輸出の観点から外国人留学生の受入に際し厳格な審査を行っています。

規制されている事項に該当する場合は、入学が許可できない場合や希望する研究活動に制限がかかる場合がありますので、ご注意ください。なお、詳細については、以下の本学安全保障輸出管理規則を参照してください。

<https://www.saitama-u.ac.jp/houki/houki-n/reg-n/2-3-16.pdf>

II. 【令和7年4月入学】埼玉大学大学院理工学研究科博士前期課程 地球環境における科学技術の応用と融合 PG 学生募集要項（第3次募集）

近代工業社会の展開に伴って物質的な豊かさと利便性を追求してきた人間の活動は、自然の許容力の範囲内で生きる伝統的社会の規範を越え、予想を上回る広範囲の環境破壊をもたらすという深刻な問題を引き起こしている。また、その一方では生活様式や社会様式の変化により、人間生活環境にも改善すべき多くの課題が出現している。このような社会情勢のもと、実社会の多様な部門において高度な研究能力に併せ、研究の急速な進展にも対処することができる十分な基礎学力と広域的視野を具えた指導的な役割を果たし得る人材が求められるようになった。

本研究科博士前期課程はこのような社会的要請に応え、SDGs に密接に関連する世界規模の課題に対して理工のみならず文理融合教育による講義と専門分野の研究活動を通して高い専門性と幅広い知識を備えたグローバル人材を育成するものである。

以上の趣旨に基づき、以下の入試選抜による学生募集を実施します。

1. 募集人員

専攻名	PG 名	募集人員	備考
専攻共通	地球環境における科学技術の応用と融合 PG	若干名	

注) 希望する指導教員と出願前に十分に相談し出願してください。相談がない場合には、指導教員の定年退職等により受け入れない場合があります。

2. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者とします。

- (1) 日本の大学を卒業した者及び令和7年3月までに卒業見込みの者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者及び令和7年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び令和7年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和7年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされる者に限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者
- (9) 大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了し、若しくは我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者であって、本学大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したと認めたもの
- (10) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、当該者をその後に入学者とする本学大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- (11) 本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達したものと及び令和7年3月31日までに22歳に達するもの

※出願資格(11)については、15 ページ「出願資格(11)の出願資格審査について」を参照してください。
 ※出願資格(11)に該当する者とは、①短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者やその他教育施設の修了者等であること。②大学教育修了までの学校教育の課程が 16 年に満たない国において大学教育を修了した者で、大学教育修了後、日本国内又は国外の大学若しくは大学共同利用機関等これに準ずる研究機関において研究生、研究員等として相当期間（おおむね 1 年以上とする）研究に従事しており、22 歳に達したものであること。

出願資格について疑問がある場合は、理工学研究科支援室理工研係（TEL 048-858-3430）に照会してください。

3. 出願手続

(1) 出願期間

令和 7 年 1 月 7 日（火）から 1 月 10 日（金）まで。
 受付時間は、9 時から 16 時まで。

(2) 提出書類等

＜本学に在籍している者（現在本学の研究生である者を含む。）＞

Forms での登録期間は、1 月 7 日（火）9 時から 1 月 10 日（金）15 時まで。

提出書類等	注意事項
受験票・写真票	本研究科所定の様式に必要事項を漏れなく記入してください。写真は、出願前 3 ヶ月以内に撮影した正面脱帽上半身のものを指定欄に貼付してください。 <u>入学志願票の提出は必要ありません。</u>
卒業（見込）証明書	出願時に本学の理学部・工学部に在籍している者は提出の <u>必要はありません。（成績証明書の提出は必要です。）</u> 本学他学部 に在籍している者、過去に本学を卒業した者は提出してください。（厳封は不要です。）
成績証明書	本学の在籍者及び過去に本学を卒業した者も <u>提出してください。</u> （厳封は不要です。） 本学に編入学している場合は、編入前の大学等の成績証明書も提出してください。
検定料	検定料：30,000 円 払込方法（次のいずれかの方法で払込してください。） コンビニエンスストアで払い込んでください。別紙案内書「コンビニエンスストアでの入学検定料払込方法」を参照ください。 ※出願期間を過ぎると受付できないので、早い時期（出願期間前でも可能）に検定料を振込んでください。ただし、国費外国人留学生は、本学で発行される「国費外国人留学生証明書」を提出してください。これにより検定料が免除されます。 検定料の免除について 学資負担者が令和 6 年 4 月 1 日から出願時までに、災害救助法が適用された地域（災害救助法適用地域）で被災した場合で、地方公共団体が発行する全壊・流失・半壊の罹災証明を得られた志願者の検定料を免除します。 検定料の免除を希望する志願者は、本学ホームページ上から検定料免除願をプリントアウトし、必要事項を記入のうえ、罹災証明書等を添付して出願書類と同時に提出してください。（この場合は、検定料を払わないでください。） また、出願時に罹災証明書等を提出できない場合は、検定料を払い込んだうえ、検定料免除願のみを提出してください。後日、罹災証明書等を提出した場合に検定料を還付します。
収納証明書貼付用紙	「収納証明書」を貼付したもの。
志望調査書	本研究科所定の様式に記入してください。

受験票等送付用封筒	定形(12cm×23.5cm)の封筒に郵便番号、住所及び宛名を明記し、110円切手を貼付したもの。
外国人留学生は、履歴書（本研究所所定の様式）及び在留カードの写しを提出してください。 なお、やむを得ず在留カードの写しを提出できない者は、その理由書及びパスポートの写しを提出してください。その場合、受験当日にパスポートを持参し係員に提示してください。	
国費外国人留学生は、「国費外国人留学生証明書」（本学で発行）を添付してください。	

- (注意) ① 提出書類のうち外国語によるものは、日本語または英語の訳をつけてください。
 ② 学位取得見込者については、学位取得後、学位授与証明書を提出してください。

出願は、一部 Forms を利用した手続きとなります。埼玉大学大学院理工学研究科の HP に掲載する URL より出願情報を登録後、書類を提出してください。

埼玉大学＞埼玉大学理工学研究科＞受験生のみなさんへ＞入試情報＞博士前期課程（修士課程）

<https://www.saitama-u.ac.jp/rikogaku/admission/exam/masters.html>



< 本学在籍中の者以外（他大学等に在籍している者、本学を卒業した者等） >

提出書類等	注意事項
入学志願票・ 受験票・写真票	本研究所所定の様式に必要事項を漏れなく記入してください。写真は、出願前3ヶ月以内に撮影した正面脱帽上半身のものを指定欄に貼付してください。
卒業(見込)証明書	出身大学等の学長又は学部長が作成し、厳封した卒業(見込)証明書 ・過去に本学を卒業した者は、 厳封は不要です。
成績証明書	出身大学等の学長又は学部長が作成し、厳封した成績証明書 ・過去に本学を卒業した者は、 厳封は不要です。 ・大学に編入している場合は、編入前の大学等の成績証明書も提出してください。 ・高等専門学校の本科から専攻科に進学した場合は、本科の成績証明書も提出してください。
検定料	検定料：30,000円 払込方法（次のいずれかの方法で払込してください。） コンビニエンスストアで払い込んでください。別紙案内書「コンビニエンスストアでの入学検定料払込方法」を参照ください。 ※出願期間を過ぎると受付できないので、早い時期（出願期間前でも可能）に検定料を振込んでください。ただし、国費外国人留学生は、在籍大学で発行される「国費外国人留学生証明書」を提出してください。これにより検定料が免除されます。 検定料の免除について 学費負担者が令和6年4月1日から出願時まで、災害救助法が適用された地域（災害救助法適用地域）で被災した場合で、地方公共団体が発行する全壊・流失・半壊の罹災証明を得られた志願者の検定料を免除します。 検定料の免除を希望する志願者は、本学ホームページ上から検定料免除願をプリントアウトし、必要事項を記入のうえ、罹災証明書等を添付して出願書類と同時に提出してください。（この場合は、検定料を払わないでください。） また、出願時に罹災証明書等を提出できない場合は、検定料を払い込んだうえ、検定料免除願のみを提出してください。後日、罹災証明書等を提出した場合に検定料を還付します。
収納証明書貼付用紙	「収納証明書」を貼付したもの。
受験許可書	現在大学院在学中の者又は官公署及び会社等に在職中の者は、その所属長の受験許可書（本研究所所定の様式による）を提出してください。ただし、本人が退職して入学する場合は、その旨を明記した文書を以て受験許可書に代えることができます。この場合は、入学時に退職証明書を提出してください。

志望調査書	本研究科所定の様式に記入してください。
受験票等送付用封筒	定形(12cm×23.5cm)の封筒に郵便番号、住所及び宛名を明記し、110 円切手を貼付したもの。
外国人留学生は、履歴書（本研究科所定の様式）及び在留カードの写しを提出してください。 なお、やむを得ず在留カードの写しを提出できない者は、その理由書及びパスポートの写しを提出してください。その場合、受験当日にパスポートを持参し係員に提示してください。	
国費外国人留学生は、「国費外国人留学生証明書」（在籍大学で発行）を添付してください。	

- (注意) ① 提出書類のうち外国語によるものは、日本語または英語の訳をつけてください。
② 学位取得見込者については、学位取得後、学位授与証明書を提出してください。

(3) 出願方法

入学志願者は、上記の提出書類等所定の期間内に持参又は郵送により提出してください。

なお、提出書類を郵送する場合は、簡易書留郵便として封筒の表に「大学院理工学研究科博士前期課程入学志願書類在中」と朱書きの上、締切日までに必着するよう送付してください。

(4) 書類提出先

〒338-8570 さいたま市桜区下大久保 255 埼玉大学大学院理工学研究科支援室理工研係

4. 障がい等のある入学志願者の事前相談について（20 ページ参照）

5. 選抜方法等

(1) 入学者の選抜は、学力検査（口述試験）、出身大学の卒業（見込）証明書及び成績証明書を総合して行います。

(2) 口述試験の配点は 100 点とします。

(3) 学力検査

区分	日時	試験内容
口述試験	令和 7 年 2 月 13 日（木） 時間等詳細については後 日連絡	1) 卒業研究(卒業研究を行っていない場合は現在興味を持っている研究)の内容及び博士前期課程で取り組みたい研究テーマについて 4 ページの PDF にまとめ、Acrobat Reader を用いて 5 分以内の発表を行う。その内容について口頭試問を行う。 2) 志望動機、将来の展望、研究に対する意欲や関心について質疑応答を行う。

(4) 試験場

本学構内（さいたま市桜区下大久保 255）

京浜東北線	北浦和駅西口下車	埼玉大学行バス約 15 分
埼京線	南与野駅下車	埼玉大学行バス約 10 分

※南与野駅埼玉大学行（経由）バス停は南与野駅北入口及び南与野駅西口があります。南与野駅西口からの便は少ないので注意してください。

(5) 試験室の案内及び諸注意事項は、受験票と同時に送付します。なお、令和 7 年 2 月 5 日（水）までに受験票が未着の場合は、理工学研究科支援室理工研係に照会してください。

6. 合格者の発表

令和 7 年 3 月 6 日（木）10 時に本学理工学研究科の掲示板に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には理工学研究科支援室理工研係で受験票と照合の上、合格通知書と入学手続関係書類を交付します。

なお、他大学出身者で当日受領しなかった者には郵送します。内部進学者は理工学研究科支援室理工研係で受領してください。

7. 入学手続

(1) 入学手続日

令和7年4月入学の場合：令和7年3月26日(水)及び3月27日(木) 9時から17時まで。

(2) 提出書類 埼玉大学大学院理工学研究科(博士前期課程)受験票 その他本学の指定する書類等(合格者に通知します。)

(3) 納付金 入学料・授業料

入学料 282,000 円〔予定額〕

授業料 (半期分) 267,900 円 (年額) 535,800 円〔予定額〕

入学手続は本学が指定した提出書類等を本人又は代理人が直接大学に持参してください。

なお、郵送による入学手続も可能です。詳細については合格者にお知らせします。

※1 授業料については、希望により前期分の納付の際に後期分も併せて納付することができます。

※2 入学手続を行い入学辞退を認められた者が令和7年3月31日(月)17時までに返還の申し出を行った場合、当該授業料相当額は返還します。

※3 入学時には上記入学料のほか、学生教育研究災害傷害保険など若干の諸経費が必要です。

※4 在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

※5 経済的理由等で入学料・授業料の納入が著しく困難であると認められる者については、選考の上、免除又は徴収猶予する制度があります。詳細については合格者にお知らせします。

(免除又は徴収猶予を申請した後に入学辞退を希望する場合は、入学料を納付する必要があります。)

※6 入学手続期間内に入学手続を行わない者は、入学辞退者として取り扱います。

8. 注意事項

(1) 必要な書類等が全て揃っていない場合には受付できないので、出願の際には十分確認してください。

(2) 出願書類受付後は、提出書類の返却及び検定料の返還はしません。ただし、TOEIC、TOEFL、IELTSの原本を提出した受験者には、面接終了後に原本を返却します。

また、次の場合は検定料の返還請求ができます。

① 検定料を払い込んだが、出願しなかった(出願書類を提出しなかった又は出願が受理されなかった)場合。

② 検定料を誤って二重に払い込んだ場合。

③ 出願時に検定料免除を申請し、後日、本学に罹災証明書等が提出された場合。

返還請求の方法は、所定の返還請求書(※)に必要事項を記入し、振込金受付証明書又は収納証明書の原本を添付し、下記送付先へ必要に応じて簡易書留等到着が確認できる方法で速やかに送付してください。

(封筒には「検定料返還請求書在中」と朱書してください。)

なお、上記③の場合は、地方公共団体の発行する罹災証明書も添付してください。

送付先 〒338-8570 さいたま市桜区下大久保 255 埼玉大学財務部経理課出納担当

(返還は、請求書受理後2ヶ月程度かかります。)

(※) 返還請求書は、本学ホームページからダウンロードして入手してください。

https://www.saitama-u.ac.jp/entrance/exam_info/henkanseikyu.pdf

(3) 出願書類受付後は、いかなる理由があっても記載事項の変更は認めません。ただし、住所、電話番号に変更があった場合には、理工学研究科支援室理工研係まで連絡してください。

(4) 提出書類の記載事項と事実が相違していることが判明した場合には、入学後でも入学を取り消すことがあります。

(5) 出願手続等に不明の点がある場合は、理工学研究科支援室理工研係(TEL 048-858-3430)に照会してください。

9. 奨学金について

日本学生支援機構奨学金の予約採用については合格者に通知する予定です。

10. 長期履修学生制度について

職業を有しているなどの理由により、標準の修業年限（2年）で修了が難しい場合、その修業年限を延長し、一定の期間（最長4年）内で計画的にカリキュラムを履修することにより、修了することができる「長期履修学生制度」を適用することができます。

11. 出願資格(11)の出願資格審査について

出願資格(11)で出願しようとする者については、個別の出願資格審査を行うので、あらかじめ本研究科へ申し出て、次の書類を令和6年12月20日（金）までに（2. 出願資格欄参照）本研究科に提出してください。

- ① 入学試験出願資格個別審査申請書 ……………（指定様式 1）
- ② 経歴書 ……………（指定様式 2）
- ③ 入学希望理由書 ……………（指定様式 3）
- ④ 成績証明書
- ⑤ 卒業証明書又は在籍証明書（入学年月日及び在籍期間が記載されたもの）
- ⑥ その他本研究科で必要と認めたもの

出願資格(11)に該当する者

- ① 短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者やその他教育施設の修了者等であること。
- ② 大学教育修了までの学校教育の課程が16年に満たない国において大学教育を修了した者で、大学教育修了後、日本国内又は国外の大学若しくは大学共同利用機関等これに準ずる研究機関において研究生、研究員等として相当期間（おおむね1年以上とする）研究に従事しており、令和7年3月31日までに22歳に達するものであること。

入学試験出願資格認定審査は、本研究科において行い、これが終了するまで出願書類の受理を保留します。

12. 緊急時の連絡の方法について

自然災害などにより試験の予定通りの実施が危ぶまれるときは、試験実施日前日の16時までに試験実施の可否などについて、大学院理工学研究科ホームページに公表しますので確認してください。

<https://www.saitama-u.ac.jp/rikogaku/admission/exam/masters.html>



13. 安全保障輸出管理について

埼玉大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づいて「国立大学法人埼玉大学安全保障輸出管理規則」を定めて、技術の提供及び貨物の輸出の観点から外国人留学生の受入れに際し厳格な審査を行っています。

規制されている事項に該当する場合は、入学が許可できない場合や希望する研究活動に制限がかかる場合がありますので、ご注意ください。なお、詳細については、以下の本学安全保障輸出管理規則を参照してください。

<https://www.saitama-u.ac.jp/houki/houki-n/reg-n/2-3-16.pdf>

Ⅲ. 【令和7年4月入学】埼玉大学大学院理工学研究科博士前期課程 地球環境における科学技術の応用と融合 PG 社会人入試学生募集要項（第3次募集）

近代工業社会の展開に伴って物質的な豊かさと利便性を追求してきた人間の活動は、自然の許容力の範囲内で生きる伝統的社会の規範を越え、予想を上回る広範囲の環境破壊をもたらすという深刻な問題を引き起こしている。また、その一方では生活様式や社会様式の変化により、人間生活環境にも改善すべき多くの課題が出現している。このような社会情勢のもと、実社会の多様な部門において高度な研究能力に併せ、研究の急速な進展にも対処することができる十分な基礎学力と広域的視野を具えた指導的な役割を果たし得る人材が求められるようになった。

本研究科博士前期課程はこのような社会的要請に応え、各種の研究機関、企業等において活躍中の現職の社会人を大学院に受け入れる道を開くと共に、教育・研究面における大学と社会との交流を一層深めようとするものである。

以上の趣旨に基づき、専門的な研究能力を有する社会人に対し、以下の入試選抜による学生募集を実施します。

1. 募集人員

専攻名	PG 名	募集人員	備考
専攻共通	地球環境における科学技術の応用と融合 PG	若干名	

注) 希望する指導教員と出願前に十分に相談し出願してください。相談がない場合には、指導教員の定年退職等により受け入れない場合があります。

2. 出願資格

現に所属する企業等に1年以上正規職員として勤務し、入学後もその身分を有する者で、所属長から受験許可を受けた社会人技術者、研究者で次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 日本の大学を卒業した者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 本研究科において、個別の出願資格審査を行い、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、満22歳に達した者（【注】参照）

【注】出願資格(6)で出願しようとする者については、個別の出願資格審査を行うので、あらかじめ本研究科へ申し出て、次の書類を**令和6年12月20日（金）までに**本研究科に提出してください。

- ① 入学試験出願資格個別審査申請書 ……………（指定様式1）
- ② 経歴書 ……………（指定様式2）
- ③ 入学希望理由書 ……………（指定様式3）
- ④ 成績証明書
- ⑤ 卒業証明書又は在籍証明書（入学年月日及び在籍期間が記載されたもの）
- ⑥ その他本学研究科で必要と認めたもの

※出願資格(6)に該当する者とは、①短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者やその他教育施設の修了者等であること。②大学教育修了までの学校教育の課程が16年に満たない国において大学教育を修了した者で、大学教育修了後、日本国内又は国外の大学若しくは大学共同利用機関等これに準ずる研究機関において研究生、研究員等として相当期間（おおむね1年以上とする）研究に従事しており、22歳に達したものであること。

※「社会人入試」とは、企業等に勤務している者を、所属長からの受験許可に基づいて選抜する制度のことであり、受験許可を行う企業等は、在職のままの修学について応諾することを前提としている。入学試験出願資格認定審査は本研究科において行い、これが終了するまで出願書類の受理を保留します。

出願資格について疑問がある場合は、理工学研究科支援室理工研係（TEL 048-858-3430）に照会してください。

3. 出願手続

(1) 出願期間

令和7年1月7日（火）から1月10日（金）まで。

受付時間は、9時から16時まで。

(2) 提出書類等

提出書類等	注意事項
入学志願票・ 受験票・写真票	本研究科所定の様式に必要事項を漏れなく記入してください。写真は、出願前3ヶ月以内に撮影した正面脱帽上半身のものを指定欄に貼付してください。
卒業証明書・ 成績証明書	出身大学等の学長又は学部長が作成し、厳封した卒業証明書及び成績証明書を提出してください。過去に本学を卒業した者は、厳封は不要です。
検定料	検定料：30,000 円 払込方法（次のいずれかの方法で払込してください。） コンビニエンスストアで払い込んでください。別紙案内書「コンビニエンスストアでの入学検定料払込方法」を参照ください。 ※出願期間を過ぎると受付できないので、早い時期（出願期間前でも可能）に検定料を振込んでください。 検定料の免除について 学資負担者が令和6年4月1日から出願時までに、災害救助法が適用された地域（災害救助法適用地域）で被災した場合で、地方公共団体が発行する全壊・流失・半壊の罹災証明を得られた志願者の検定料を免除します。 検定料の免除を希望する志願者は、本学ホームページ上から検定料免除願をプリントアウトし、必要事項を記入のうえ、罹災証明書等を添付して出願書類と同時に提出してください。（この場合は、検定料を払わないでください。） また、出願時に罹災証明書等を提出できない場合は、検定料を払い込んだうえ、検定料免除願のみを提出してください。後日、罹災証明書等を提出した場合に検定料を還付します。
収納証明書貼付 用紙	「収納証明書」を貼付したもの。
受験許可書	本研究科所定の用紙に所属長が記入したもの。
受験票等送付用 封筒	定形(12cm×23.5cm)の封筒に郵便番号、住所及び宛名を明記し、110円切手を貼付したもの。

（注意） 提出書類のうち外国語によるものは、日本語または英語の訳をつけてください。

(3) 出願方法

入学志願者は、上記の提出書類等を所定の期間内に持参又は郵送により提出してください。

なお、提出書類を郵送する場合は、簡易書留郵便として封筒の表に「大学院理工学研究科博士前期課程入学志願書類在中」と朱書きの上、締切日までに必着するよう送付してください。

(4) 書類提出先

〒338-8570 さいたま市桜区下大久保 255 埼玉大学大学院理工学研究科支援室理工研係

4. 障がい等のある入学志願者の事前相談について（20 ページ参照）

5. 選抜方法等

(1) 入学者の選抜は、学力検査（口述試験）、出身大学の卒業証明書、成績証明書及び受験許可書を総合して行います。

(2) 口述試験の配点は100点とします。

(3) 学力検査

区分	日時	試験内容
口述試験	令和7年2月13日(木) 時間等詳細については後 日連絡	1) 卒業研究(卒業研究を行っていない場合は現在興味を持って いる研究)の内容及び博士前期課程で取り組みたい研究テー マについて4ページのPDFにまとめ、Acrobat Readerを用い て5分以内の発表を行う。その内容について口頭試問を行う。 2) 志望動機、将来の展望、研究に対する意欲や関心について 質疑応答を行う。

(4) 試験場

本学構内(さいたま市桜区下大久保255)

京浜東北線	北浦和駅西口下車	埼玉大学行バス約15分
埼京線	南与野駅下車	埼玉大学行バス約10分

※南与野駅埼玉大学行(経由)バス停は南与野駅北入口及び南与野駅西口があります。南与野駅西口からの便は少ないので注意してください。

(5) 試験室の案内及び諸注意事項は、受験票と同時に送付します。なお、令和7年2月5日(水)までに受験票が未着の場合は、理工学研究科支援室理工研係に照会してください。

6. 合格者の発表

合格者の発表は、令和7年3月6日(木)10時に本学理工学研究科の掲示板に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には理工学研究科支援室理工研係で受験票と照合の上、合格通知書と入学手続関係書類を交付します。

なお、当日受領しなかった者には、郵送します。

7. 入学手続

(1) 入学手続日

令和7年4月入学の場合：令和7年3月26日(水)及び3月27日(木)9時から17時まで。

(2) 提出書類 埼玉大学大学院理工学研究科(博士前期課程)受験票
その他本学の指定する書類等(合格者に通知します。)

(3) 納付金 入学金・授業料
入学金 282,000円〔予定額〕
授業料(半期分) 267,900円 (年額) 535,800円〔予定額〕

入学手続は本学が指定した提出書類等を本人又は代理人が直接大学に持参してください。

なお、郵送による入学手続についても可能です。詳細については合格者にお知らせします。

※1 授業料については、希望により前期分の納付の際に後期分も併せて納付することができます。

※2 入学手続を行い入学辞退を認められた者が令和7年3月31日(月)17時までに返還の申し出を行った場合、当該授業料相当額は返還します。

※3 入学時には上記入学金のほか、学生教育研究災害傷害保険など若干の諸経費が必要です。

※4 在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

※5 経済的理由等で入学金・授業料の納入が著しく困難であると認められる者については、選考の上、免除又は徴収猶予する制度があります。詳細については合格者にお知らせします。

(免除又は徴収猶予を申請した後に入学辞退を希望する場合は、入学金を納付する必要があります。)

※6 入学手続期間内に入学手続を行わない者は、入学辞退者として取り扱います。

8. 注意事項

- (1) 必要な書類等が全て揃っていない場合には受付できないので、出願の際には十分確認してください。
- (2) 出願書類受付後は、提出書類の返却及び検定料の返還はしません。

また、次の場合は検定料の返還請求ができます。

- ① 検定料を払い込んだが、出願しなかった（出願書類を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合。
- ② 検定料を誤って二重に払い込んだ場合。
- ③ 出願時に検定料免除を申請し、後日、本学に罹災証明書等が提出された場合。

返還請求の方法は、所定の返還請求書（※）に必要事項を記入し、振込金受付証明書又は収納証明書の原本を添付し、下記送付先へ簡易書留にて速やかに送付してください。

（封筒には「検定料返還請求書在中」と朱書してください。）

なお、上記③の場合は、地方公共団体の発行する罹災証明書も添付してください。

送付先 〒338-8570 さいたま市桜区下大久保 255 埼玉大学財務部経理課出納担当

（返還は、請求書受理後2ヶ月程度かかります。）

（※）返還請求書は、本学ホームページからダウンロードして入手してください。

https://www.saitama-u.ac.jp/entrance/exam_info/henkanseikyu.pdf

- (3) 出願書類受付後は、いかなる理由があっても記載事項の変更は認めません。ただし、住所、電話番号に変更があった場合には、理工学研究科支援室理工研係まで連絡してください。
- (4) 提出書類の記載事項と事実が相違していることが判明した場合には、入学後でも入学を取り消すことがあります。
- (5) 出願手続等に不明の点がある場合は、理工学研究科支援室理工研係（TEL 048-858-3430）に照会してください。

9. 長期履修学生制度について

職業を有しているなどの理由により、標準の修業年限（2年）で修了が難しい場合、その修業年限を延長し、一定の期間（最長4年）内で計画的にカリキュラムを履修することにより、修了することができる「長期履修学生制度」を適用することができます。

10. 緊急時の連絡の方法について

自然災害などにより試験の予定通りの実施が危ぶまれるときは、試験実施日前日の16時までに試験実施の可否などについて、大学院理工学研究科ホームページに公表しますので確認してください。

<https://www.saitama-u.ac.jp/rikogaku/admission/exam/masters.html>



11. 安全保障輸出管理について

埼玉大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づいて「国立大学法人埼玉大学安全保障輸出管理規則」を定めて、技術の提供及び貨物の輸出の観点から外国人留学生の受入に際し厳格な審査を行っています。

規制されている事項に該当する場合は、入学が許可できない場合や希望する研究活動に制限がかかる場合がありますので、ご注意ください。なお、詳細については、以下の本学安全保障輸出管理規則を参照してください。

<https://www.saitama-u.ac.jp/houki/houki-n/reg-n/2-3-16.pdf>

IV. 障がい等のある入学志願者の事前相談について

本学に出願を希望する者で、身体等に障がいがあり、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、次により本学へ事前相談の申請を行ってください。

なお、不明な点又は事前相談の締切日までに申請することができない場合には事前相談担当までご相談ください。

連絡先：〒338-8570 さいたま市桜区下大久保 255 埼玉大学大学院理工学研究科支援室理工研係
TEL 048-858-3430（平日 9 時～17 時） 申請書提出期限：令和 6 年 12 月 20 日（金）

(1) 申請方法

申請する場合は所定の書式（※）に診断書（発行後 6 カ月以内の原本）及び身体障害者手帳を所有の者はその写しを添えて提出することとし、必要な場合は、本研究科において当該志願者又は保護者若しくはその立場を代弁しうる者との面談をすることがあります。

（※）申請書は、本学ホームページからダウンロードして入手してください。

https://www.saitama-u.ac.jp/entrance/exam_info/consultation/hairyo-shinsei.pdf

(2) この申請で、受験許可を得た場合は、出願書類を提出の際、その旨を上記連絡先に連絡してください。

(3) この申請で受験許可を得て、出願を辞退若しくは出願したが受験しない場合は、速やかに上記の連絡先に連絡してください。

V. 入 試 情 報 の 開 示 に つ い て

埼玉大学大学院理工学研究科博士前期課程では、入試情報について、次のとおり開示・提供します。

- 請求に基づき開示する情報
入試成績の合計点

- 開示請求方法

- ・対 象 者 本入試を受験し、**不合格となった者**に限ります。
- ・請求方法 郵送の場合は、「埼玉大学大学院理工学研究科 博士前期課程 入試情報開示請求書」（募集要項に添付）、返信用封筒（本人の住所、氏名を明記し、簡易書留郵便 460 円分の切手を貼った長形 3 号封筒）及び受験票を同封してください。
窓口の場合は、「埼玉大学大学院理工学研究科（博士前期課程）入試情報開示請求書」（募集要項に添付）を提出してください。その際、受験票を提示してください。
- ・請求期間 令和 7 年 3 月 17 日（月）～3 月 18 日（火）
- ・請 求 先 〒338-8570 さいたま市桜区下大久保 255
埼玉大学大学院理工学研究科支援室理工研係
（注）郵送の場合は「大学院入試情報開示請求」と朱書きしてください。
- ・開示方法 請求期間終了後に郵送又は窓口で交付します。なお、交付日は請求時に連絡します。
窓口で交付を受ける際は、受験票を提示してください。

埼玉大学大学院理工学研究科

〒338-8570 さいたま市桜区下大久保 255 TEL 048-858-3430